



六郷中だより

六郷中学校だより 第8号

令和7年9月5日

発行・文責：校長 渡邊 賢

<六中HP>



R7全国学力・学習状況調査の結果と今後の対策

全国の中学3年生を対象に実施した令和7年度の「全国学力・学習状況調査」の本校の調査結果の概要をまとめました。今後の対策と併せて報告します。

1 調査の目的

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その成果と課題を明らかにするとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 実施生徒 国・公・私立学校の中学校3年生の全生徒（おおよそ8万7千人）

3 実施日 令和7年4月17日（木）

4 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語・数学・理科の3教科の学力調査）

- ・各教科において、身につけておくべき内容や実生活において活用できることが望ましい知識、技能
- ・知識、技能を実生活に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価、改善する力

(2) 質問紙調査（学習状況調査）

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問

5 教科に関する調査（学力調査）結果の概要と今後の対策について

(1) 六郷中3年生の各教科の平均正答率と全国平均（公立）との比較

	国語	数学	理科
全国平均との比較	同等	同等	かなり上回る

※全国平均との比較は、次の基準によります。

かなり上回る	10ポイント以上、上回っている場合
やや上回る	5ポイント以上～10ポイント未満、上回っている場合
同等	±5ポイント未満の中に入っている場合
やや下回る	5ポイント以上～10ポイント未満、下回っている場合
かなり下回る	10ポイント以上、下回っている場合

(2) 各教科の分析

【国語】

- ・全14問における国語の学習指導要領の内容ごとの正答率と全国平均（公立）との比較

「言葉の特徴や使い方に関する事項」…同等
 「話すこと・聞くこと」……………同等
 「書くこと」……………同等
 「読むこと」……………同等

- ・出題の趣旨ごとに分析すると

「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」「相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する」「自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫する」については、上回りました。

一方「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えて書くこと」「読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて文章を整える」「事象や行為を表す語彙について理解している」については、かなり下回り課題がみられました。

【数学】

- ・全15問における数学の学習指導要領の領域ごとの正答率と全国平均（公立）との比較

「数と式」……………同等
 「図形」……………やや下回る
 「関数」……………同等
 「データの活用」……………同等

- ・出題の趣旨ごとに分析すると

「事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができる」では、

かなり上回りました。「一次関数において変化の割合を基に、増加量を求める」「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる」について、上回りました。

一方「素数の意味を理解している」「多角形の外角の意味を理解している」では、かなり下回りました。また「事象に即して、グラフから必要な情報を読み取る」「総合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができる」については、やや下回り課題がみられました。

【理科】

- 全22問における理科の学習指導要領の領域ごとの正答率と全国平均（公立）との比較
 - 「エネルギー」を柱とする領域……かなり上回る
 - 「粒子」を柱とする領域……かなり上回る
 - 「生命」を柱とする領域……同等
 - 「地球」を柱とする領域……かなり上回る ※理科はCBT(PC上での解答)で実施
- 出題の趣旨ごとに分析すると
 - 「音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できる」「身近な電化製品の電気回路について、抵抗に関する知識が概念として身につけている」について、かなり上回りました。ほとんどの問題で同等、またはやや上回りましたが、「身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できる」はやや下回り、課題がみられました。

6 質問紙調査（学習状況調査）から明らかになった本校生徒の傾向について

◇全国と比較して良かった（5ポイント以上、上回っている）質問項目

- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- 学校に行くのは楽しい。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

◇全国と比較して良かった（10ポイント以上、上回っている）質問項目

- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。
- PC、タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用している。
- 自分でインターネットを使って、情報を収集することができる。
- 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。
- 学級での話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる。
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる。
- 友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。

◇全国と比較して課題のあった（5ポイント以上、下回っている）質問項目

- 将来の夢や目標を持っていますか。

7 まとめ（今後に向けて）

教科（国語・数学）に関する調査については、全国平均と比べ同等という結果になりました。質問紙調査（学習状況調査）においては、自己肯定感をもって、学校生活を過ごしている様子がうかがえる結果です。将来に夢や希望がありますかという質問では、半数以上の生徒が持っていると解答しました。これから高校進学や将来に向けてのキャリア教育において、学びの機会をもちたいと考えます。

今後は、教科における課題と、質問紙調査で明らかになった「休日平日を問わず、自ら計画を立てて、家で勉強する時間の確保ができるように」という目標をもち、ICT機器の活用も継続し、日常の学習活動がより主体的となるよう生活指導や授業改善に取り組みます。また、生徒一人一人の家庭学習が自主的で継続的なものになるよう、引き続き課題解決を図っていきます。

スマホやゲーム、SNS等との関わりの課題や、生活状況の実態を踏まえ、今後の学習指導や生徒指導の改善につなげていきます。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。